

2019年8月31日 ~ 2019年9月6日

2019年9月10日

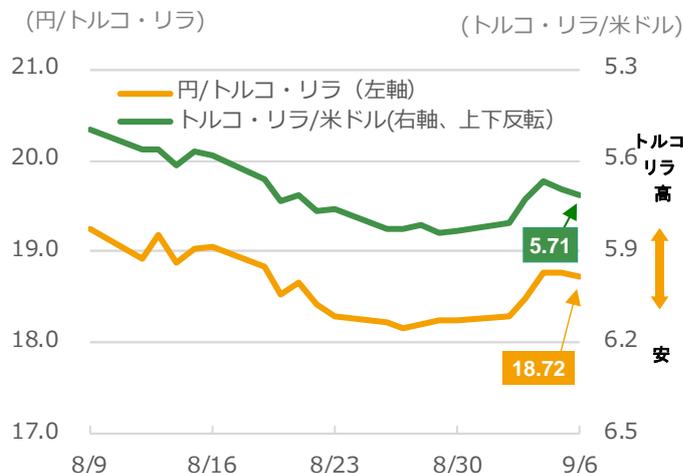
先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は、トルコの4-6月期のGDP（国内総生産）が発表され、市場予想を上回る結果となりました。また、8月のCPI（消費者物価指数）の鈍化幅は市場予想以上で、トルコ中央銀行の追加利下げの可能性が高まりました。世界的に株価が回復し、リスク回避的な動きが緩和したことも背景に、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに上昇しました。国債金利は低下しました。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年8月9日~2019年9月6日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

今週の見通し

今週はトルコ中央銀行の金融政策決定会合が予定されています。市場予想では2.75%ポイント程度の下下げが織り込まれています。エルドアン大統領は8日（現地）のテレビ演説で、政策金利を1桁台に引き下げる（現在19.75%）と、中央銀行の独立性が改めて懸念されそうな発言をしましたが、欧米を筆頭に世界の多くの国・地域で金融当局が緩和姿勢へと傾く環境下ではトルコ・リラが下落するリスクは小さいと考えられます。足元で市場のリスクセンチメントは回復しており、今週はトルコ・リラにとってポジティブな環境が続くと予想しています。

トルコ 金利推移

(2019年8月9日~2019年9月6日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。